

1 基本理念 ～目指すべき人間像～ ※現行大綱の基本理念を継承

- (1) 学ぶ意欲にあふれ、心豊かでたくましく夢に向かって羽ばたく子どもたち
- (2) 郷土への愛着と誇りを持ち、高い志を掲げ、日本や高知の未来を切り拓く人材

6つの基本方針に基づく取組の推進により基本理念の実現を目指す

不登校の増加など喫緊の課題への対策を充実・強化、総合的な取組を推進

2 基本目標 ※PDCAサイクルに基づく取組の不断の検証・改善を図るため、下記の基本目標を設定

知 (1) 知の分野

子どもたちが社会に出て自らの夢や志を実現していくための基礎となる、基礎的・基本的な知識・技能やこれらを活用して課題を解決するための思考力・判断力・表現力、生涯にわたって学び続ける意欲を育むことを目標とし、その目標達成に向けた進捗や施策の成果・課題を把握するため、以下を指標として設定する。

- 全国学力・学習状況調査において、小学校の学力は全国上位を維持し、更に上位を目指す。中学校の学力は全国平均以上に引き上げる
- 高校2年生の1月の学力定着把握検査におけるD3層の生徒の割合を10%以下に引き下げる
- 高等学校卒業者のうち進路未定で卒業する生徒の割合を3%以下にする

徳（2）徳の分野

社会の中で多様な人々と互いに尊重し合い、協働し、社会に参画しながら人としてよりよく生きていくための基礎となる、他者への思いやりや規範意識、公共の精神などの豊かな人間性・道徳性を育むことを目標とし、その目標達成に向けた進捗や施策の成果・課題を把握するため、以下を指標として設定する。

- 不登校児童生徒が抜かりなく学校内外の関係機関等による個に応じた必要な支援を受けられるようにすることにより、生徒指導上の諸課題（不登校、中途退学）の状況を全国平均以下まで改善させる
- 児童生徒質問紙調査における道徳性（自尊感情、夢や志、思いやり、規範意識、公共の精神等）に関する項目の肯定的回答の割合を向上させる

体（3）体の分野

生涯にわたってたくましく生き抜いていくための基礎となる、体力や健康的な生活習慣を身につけることを目標とし、その目標達成に向けた進捗や施策の成果・課題を把握するため、以下を指標として設定する。

- 小学校の体力・運動能力は全国上位に、中学校の体力・運動能力は全国平均以上に引き上げる

3 施策体系

6つの基本方針と組織横断的に取り組む重点課題

▶ 資料3-2参照

基本方針

施策の基本方向

- | | |
|---|---|
| 1 チーム学校の推進 | ① チーム学校の基盤となる組織力の強化
② チーム学校の推進による教育の質の向上 |
| 2 厳しい環境にある子どもへの支援や子どもの多様性に応じた教育の充実 | ③ 多様な課題を抱える子どもへの支援の充実
④ 特別支援教育の充実 |
| 3 デジタル化社会に向けた教育の推進 | ⑤ 創造性を育む教育の充実
⑥ 先端技術の活用による学びの個別最適化
⑦ デジタル化に対応する教育の充実 |
| 4 地域との連携・協働 | ⑧ 中山間地域をはじめとする各地域の教育の振興
⑨ 学校・家庭・地域の連携・協働の推進 |
| 5 就学前教育の充実 | ⑩ 教育・保育の質の向上
⑪ 親育ち支援の充実 |
| 6 生涯学び続ける環境づくりと安心・安全な教育基盤の確保 | ⑫ 生涯にわたって学び地域社会に活かす環境づくり
⑬ 私立学校の振興、⑭ 大学の魅力向上
⑮ 文化芸術の振興と文化財の保存・活用
⑯ スポーツの振興、⑰ 児童生徒等の安全の確保 |

緊

教育委員会を中心に組織横断的に取り組むべき喫緊の課題

- 不登校の原因に応じた対策を切れ目なく講じるための方策 ▶ 次回総合教育会議において集中的に議論